

# 運営推進会議議事録

事業所名	幼老の郷 グループホームおっこう山	開催回数	第16回
開催日時	令和5年9月15日(金曜日)		
開催場所		議長	谷口 寛子
出席者名			
利用者	0名	地域包括支援センター職員	1名
利用者家族	4名	事業所職員	3名
地域住民代表	1名	その他の出席者	なし
知見を有する者	1名	合計 10名	

## 議題

### 1、運営状況の報告

《1階フロア》男性：1名、女性：8名 計9名

平均年齢：88歳、平均介護度：2.0

《2階フロア》男性：4名、女性：4名 計8名

平均年齢：85.3歳、平均介護度：3.12

《3階フロア》男性：3名、女性：6名 計9名

平均年齢：87.6歳、平均介護度：2.0

《全体》 平均年齢：87歳、平均介護度：2.26

この夏は、記録的な暑さが続き、屋外での活動が少し難しかった。毎週月曜日のこども園とのラジオ体操の時間も、日陰でこども達の姿が見えるグループホームの玄関前で行う日も多かった。高齢になると体温調節機能が低下しやすく、「暑い」、「寒い」を感じにくくなっている。利用者様の中には、エアコンの風が苦手な方が多く、温度設定や風向きなどを工夫して、空調管理に努めている。屋内でも熱中症になることがあるため、定期的にスポーツドリンクや経口補水液を摂取していただいた。トイレが近くなるから水分をあまり摂りたくないと考える方もおり、少量ずつ、こまめに提供している。これから、朝晩の気温が少しずつ下がり、日中との気温差が出てくる時期となる。部屋の温度や服装を確認し、快適に過ごして頂けるようサポートしていく。

### 2、活動報告

#### ・7月7日 七夕

各フロアに笹を準備し、届き次第、短冊と笹飾りを行う。笹が到着してすぐに飾り付けを始めることで、七夕まつりに対しての期待に繋げることができた。昼食は、イベント食として「海鮮丼」を提供する。当日は、こども園での合同誕生日会への参加や、特別支援学校との交流もあり、花火の作品を頂き、ダンスを見たり一緒に踊ったり楽しめる。

#### ・7月21日 こども園キャンプ

前日から、おやつプレゼントにシャーベットを作り、当日は、宝箱ミッションなど、こども園のプログラムに合わせ、交流する。暗くなるまでキャンプファイヤーに参加し、2日目にはこども達の昼食に焼きそばをつくる。2日間、いろんなプログラムがあったが、体調を崩される方はおらず、夜はぐっすりとお休み、楽しいイベントとなる。

• 7月30日 イベント食

土用の丑の日に「うなぎ」を食べて頂きたく、うなぎを用意する。お店の方の、酢飯を普通のご飯に変更する配慮もあり、美味しいと喜ばれる。

• 余暇時間

特別支援学校の生徒さん達から、黒画用紙いっぱい広がる花火の壁画をいただく。

園庭での、毎月曜の朝のラジオは、暑くなって来た為、体調面を考慮し、日陰に移動したり、風の良く通る玄関前での参加にするなど対応している。

• 園芸

夏野菜の収穫が始まり、暑い中ではあるが、帽子をかぶり、大きくなったきゅうりや大葉、プチトマトを畑まで取りに行く。かぼちゃや枝豆も育っている。

• 8月2日 かかし作り

こども園のかかし作りのイベントに参加する。かかし作りの様子を、皆様興味深そうに見ておられ、手拍子をしながら、こども達の歌う「かかし」を聞かれる。完成したかかしと記念撮影する。その後、田んぼへ移動し、設置するのを見学する。

• 8月18日 かき氷大会

理事長に依頼し、テラスにてかき氷を作り、1階フロアではわらび餅を作って、提供する。ラムネで乾杯をし、夏らしいイベントになる。

職員研修

法定研修の虐待研修実施。全職員対象

外部研修 ボディメカニクス

### 3、事故報告

※事故の内容については別紙参照

身体拘束適正化委員会

7月に身体拘束適正化委員会を開催し、開設当時に作成した身体拘束適正化委員会の指針やマニュアルの見直しを行った。大きく変化すべき点は見当たらず、今後も指針に基づいて、身体拘束を起こさない施設運営を行っていく。

### 4、ご意見・ご要望

あんしんすこやかセンター 守口様

神戸くらしのレポート紹介

神戸市内で起きている詐欺やトラブルが載っている。不用品回収の業者によるトラブルもあり、高額な請求を受ける場合もある。粗大ゴミの処分は「すまいるネット」の片付け支援サービスの選定支援も活用して欲しい。また、「老人ホームの入居権を譲って欲しい。」と電話があった。実際に「北山セキスイライフ」と会社名を言われ、信用させる名前を使い電話がある。この神出町内でのそのような電話があったと報告もあがっている。少しでもおかしいと思ったら、相談して欲しい。

ご家族

週4回面会に来ている。大変な仕事だと思う。家族は助かっている。本人と話して楽しい時間を過ごしていきたい。

ご家族

コロナが増加している。戦いが続いていると感じる。

ご家族

なかなか施設に来られなくて申し訳なく感じている。家ではできないようなイベントがあり、嬉しそうな笑顔を見ると元気になっているようで家族として嬉しい。コロナやインフルエンザが増え季節も関係なくなってきた。職員の気遣いに感謝している。

ご家族

最近、外出し、昼食を一緒にとることができている。入居前には見られなくなっていた良い笑顔を見ることができている。散髪も家族が付き添わなくてもできたことが良かった。元気で綺麗な顔でいつまでもいて欲しい。

知見を有する方

良い施設に入居されて良かった。他の施設ではコロナが流行しクラスターに発展している。職員からの感染で、広がっている。以前のようにパーティションを使用し、感染対策を行っている。事故の転倒対応はたいへんだと思われる。

地域住民代表

11月16日～17日 神出町地域福祉センターで地域の文化祭を実施する。

## 5. 理事長より

稲刈り中に、利用者の皆さまが応援に来てくださり、笑顔で頑張ることができた。こども園は行事等、コロナ前に戻ってきているが、グループホームは難しい点も多い。コロナ感染がなくここまで運営できているのも家族様の協力があるからこそである。今後も油断することなく、対応していく。利用者の皆さまに楽しんで頂ける企画も検討している。「食べることの楽しみ」を大切に、今日よりも明日へ動ける力につなげていけるよう支援していく。秋から冬にかけて新米、焼き芋と楽しんで頂きたいと思っている。何なりとご意見を頂ければ運営に活かしていきたいと思う。

次回の開催 令和5年11月10日(金) 14:00 ~ 15:30

開催場所 グループホームおっこう山